

お客様各位

いつも大変お世話になっております。ナットソース・ジャパンでございます。

10月中旬からめっきり秋らしくなり、あの夏の暑さはどこに消えたのかという変わりようです。しかも、「北海道では平年より10日早い初雪を観測」など急変ぶりには驚きです。

今月もニュースレター（NJL11月号）のご案内をさせて頂く時期になりました。

本誌をご購読頂いておりますお客様へは、今週26日（金）に電子メールを介しての配信を予定致しておりますので宜しくお願い致します。

- ・ 10月7日に欧州のEU ETSと米国で導入予定の温室効果ガスの排出量取引制度の間で市場を統一させるとの報道がありましたが、これらを連携させるためには、解決しなければならない課題が多く、その実現までにはまだまだ時間を要するものと思われます。そこで、EU ETSと米国の排出量取引制度（なかでもRGGI）を連携させるために、解決が必要とされる課題について、弊社小松よりご報告させていただきます。
- ・ 9月に、欧州の排出量取引ならびに京都メカニズムの利用状況の最新情勢を探ることを目的として、弊社阿部が約 2 週間の現地調査を行いました。連載ものとして、第一回目はポーランドにおける EU ETS および京都メカニズム関連の現状についてご報告させていただきます。
- ・ これまで CER のオークション取引はシンガポールに拠点を置くアジアカーボン取引所(ACX)に限られていましたが、9月最終週、その ACX でのオークションに加えて、シカゴ気候変動取引所とブラジル商品先物取引所において発行済 CER のオークションが実施されました。それぞれの結果と落札価格の内容を整理しつつ、今後増えていくことが予想される CER のオークションの落札価格が GHG 取引市場における「価格指標」の一つとなる可能性について、弊社社長谷川が考察致しましたので、ご紹介させていただきます。

今月も引き続き以下お知らせ致します。今回が最後のお知らせです。

当社がメンバー企業である IETA が主催者の 1 社となっている「カーボン・フォーラム・アジア」が 11 月 6 日、7 日に開催されます。日本語のパンフレットを以下のホームページからご覧になれますので、ご紹介致します。

Carbon Forum Asia Sales Folder – Japanese version

<http://www.ieta.org/ieta/www/pages/download.php?docID=2478>

Carbon Forum Asia General Factsheet – Japanese version

<http://www.ieta.org/ieta/www/pages/download.php?docID=2477>

また、以下は「カーボン・フォーラム・アジア」のホームページです。

ホームページの画面の右側の"Top links"に日本語版のパンフレットへのリンクありますので、ご利用ください。

<http://www.carbonforumasia.com/>

NJL では、排出権に関する様々な話題を弊社なりの視点でご報告させて頂いております。当社サービスにつきましてのご質問、ご相談などがございます際には、お気軽に弊社までお問い合わせ下さい。

下記URL より過去のNJL の目次をご確認頂くことが可能です。

http://www.natsourcejapan.com/njletter/contents_2007.html

また、お申し込みはこちら よりお願い致します。

<http://www.natsourcejapan.com/njletter/index.html>

ナットソース・ジャパン・レターに関するお問合せは、njl@natsourcejapan.com または
03-5275-1710までお願い致します。

なお、このメールは、過去に弊社がコンタクトさせて頂きましたお客様に送らせて頂いております。

今後、このようなご案内が不要の際には、お手数ではございますが、その旨、本メールにご返信頂けますと幸いです。今後とも宜しくお願い致します。